

1 学校教育目標

○進んで考える子 ○仲よく助け合う子 ○心と体をきたえる子 ○最後までやりぬく子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	生きる力を身に付けさせる学校	○学びの楽しさや喜びを発見できる学校	○豊かな人間性を培う学校
		○健やかな心身を育む学校	○地域・家庭から信頼される学校
○児童・生徒像	知徳体の調和のとれた児童	○主体的に学び、自分の考えをもち、表現できる児童	○豊かな心で自己と他者を認め、高め合える人権感覚の備わった児童
		○心身ともに健康でたくましい児童	○何事にも意欲的に挑戦し、粘り強く努力する児童
○教師像	使命を全うできる教師	○専門職として優れた知識や技術を備え、意欲的に研鑽に励む教師	○児童を大切にして、大人として手本となれる社会人
		○教育課題に適切に対応できる責任感と実践力を身に付けた教師	

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

前年度は、人事異動が複数重なり約半数の教職員が入替わったが、児童の適応力が高く比較的円滑に始業することができた。高学年の一部に落ち着かない状況も見られたが、大半の児童は授業や行事等へ熱心に取り組んでいた。学習状況に関して足立区学力調査の結果では、通過率・正答率共に目標値とする80%には届かず、基礎力の定着と活用能力の伸長に向けた授業改善と教師力向上のための研鑽に教職員一丸となり取り組んでいる。また、知・徳・体の三位一体で均整のとれた児童の育成を目指す中で、コーディネーショントレーニング地域拠点校の指定を受け、児童・教職員共に新しい分野への取り組みを行った。本年度は、落ち着いた学習環境の下で個に応じた学力向上を目指して、児童一人ひとりが自己肯定感を持ち、それによって他者を認める人権感覚を身に付けられるように、系統的・総合的な教育活動を行っていききたい。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		H30	R1	R2	R3	R4
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	人権感覚を備えた豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	体力向上	○	○	○	○	○

5 令和2年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
区調査通過率 80%以上		通過率 80%以上		全校平均 国語 71.5% 算数 78.3%		学年・教科によって較差があり、個別の分析と更なる授業力の向上が必要である。		△	
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	朝学習	全児童 国・算	火・木 15分間	担任指導 漢字ドリル 算数ベーシックドリル	確認テスト	漢字・計算共に 正答率 90%	基礎的事項に重点を置き、 繰り返しの学びを継続し ている。	ドリルの取り組みのみで なく、読書活動にも工夫を 入れている。	○
2 継続	放課後 補習教室	区調査正 答率 70% 以下	月・火・ 金 30分	担任・専科・ボランティア 国算ベーシックドリルを 基本教材に基礎力定着	定着確認テス ト 12月	定着テストで 目標値通過児 童 80%以上	担任・専科教員の全校体制 で指導を行っている。	初めに補習ありきではな く、授業第一の認識の下で 改善に取り組んでいる。	○
3 継続	サマー スクール	要基礎定 着者各学 年約 10名	夏季休 業中 10 日 80分	全教員で分担指導 国語・算数のつまづき解消	夏休み終了後 の確認テスト	確認テストで 各自の正答率 10%上昇	<コロナによる教育課程 変更に伴い中止>		●
4 継続	家庭学習 の推進	全児童 保護者	通年	・児童への周知 ・家庭への協力要請 ・指導、点検	課題提出状況 と学習成果の 相関	宿題提出率 平均 90%以上	休校期間中も含め、家庭か らの協力体制も高いこと が受け取れた。	通常時での家庭学習を定 着させるために、理解しや すい指針が必要。	△
5 継続	図書館 活用教育	全児童	通年	・調べる学習、読書感想文 ・読書活動の推進 ・読み聞かせ等の実施	原則として全 員が応募提出	全員提出	学校図書館活用に向けて 各種取り組みができた。	デジタル主流の中でもア ナログな書籍の持つ特性 を尊重できる知性を育む。	○
6 継続	各種検定	希望者	通年	開かれた学校づくり協議 会の主催 ・漢検 ・英検 ・算数検	受検結果	受検者 合格率 80%	<コロナ禍により主な活 動が中止>	新しい生活様式に即した 活動再開を目指す。	●
7 継続	健康管理 と 学力向上	全児童	通年	健康管理と学力定着の関 連性を重視して予防と治 癒率を上げる	各科治癒率の 集計	各科治癒率 90%	<秋に検診を実施>		△

重点的な取組事項－2		人権感覚を備えた豊かな心の育成			
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
思いやりのある優しい子の育成	児童の学校生活に対する肯定的意見が80%以上				
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
人権教育	90%以上の児童が「友人関係が良好」と回答	人権プログラムを活用して、全教育活動を通して指導			
異年齢集団による体験活動	「友人関係」「学校生活」肯定的回答90%以上	クラブ・仲良し班活動・校外学習・幼保小中連携での交流			
ボランティアマインドの醸成	「学校生活」に肯定的回答90%	オリンピックパラリンピック教育交流会・道徳授業・特別活動等			

重点的な取組事項－3		体力向上			
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
スポーツに親しむ姿勢を培う。 全国体力調査の結果を区内平均にする。	体力調査の結果が区内平均以上。 児童の「体育・遊び」に対する肯定的回答が90%以上				
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
通年での体育授業の充実	「体育の授業」への肯定的回答90%以上	児童の現状に即した指導の工夫改善			
日常的な運動遊びの促進	「外遊び・運動好き」の回答90%	①「スポーツ朝会」 ②「アクティブタイム」			
外部人材活用による専門的な指導	体育的記録の結果向上	長縄跳び・短縄跳び・持久走			
コーディネーショントレーニング継続	体育的記録の結果向上	体育授業・体育的行事等での導入			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）